

平成 30 年大阪府北部地震・7 月豪雨・北海道胆振東部地震における
災害対応の現地支援に関する報告書
—災害の全体像の見誤りを防ぐ災害対応ガバナンスの比較—
(概要)

人と防災未来センターでは、大規模災害時に、必要に応じて研究員などを被災地に派遣し、被災地の被害軽減と復旧・復興に貢献することを目指し、災害対応の現地調査・支援を行っている。

本報告書は、2018 年に発生した大阪府北部地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年北海道胆振東部地震の際に当センターが行った現地支援活動について記録するとともに、これらの災害対応の中で問題となった「災害の全体像の見誤り」がもたらす弊害やその防止案について記述した。また、当センターによる現地支援のあり方について整理を行った。

本報告書は以下のような三部構成で執筆されている。

第一部では、2018 年に発生した大阪府北部地震と、7 月豪雨、北海道胆振東部地震の 3 つの災害を比較し、災害の全体像の見誤りを避けるための課題を整理するとともに、提言を行った。また、それぞれの災害に対する現地支援の状況を記述した。さらに、医療の視点から 7 月豪雨と北海道胆振東部地震での支援活動の状況を記述した。

第二部では、これまでに当センターで行ってきた現地支援の実績をふまえ、当センターによる現地支援のあり方について論じた。具体的には、現地支援のミッションや目標、行動規範を含む基本的な考え方を示するとともに、具体的な支援手法や留意事項を提示した。併せて、現地支援に用いる資料の標準化について検討を行った。

第三部では、3 つの災害で行った現地支援において、実際に提供した資料を掲載した。

2019 年 3 月

人と防災未来センター研究部
編集代表：楊、高岡、木山